

# 平成 26 年度第 1 回庄原市初任者研修会

平成 26 年 4 月 24 日（木） 庄原市役所 4 階 会議室

庄原市における教育課題を踏まえ、さらなる改善を行うため、新任教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養うことを目的に、研修会を行いました。（対象者：小学校教諭 6 名，中学校教諭 1 名，栄養職員 1 名）

## 【講話①】「初任者に期待すること」

庄原市教育委員会教育長 牧原 明人



### 【概要】

- ・教職員として、子供のことを常に考えること。
- ・授業力を身に付けること。（①良い授業を観る。②進んで授業研究を行い、指導を受ける。③改善案をつくる。）

（参加者の振り返りより）

- ◆子供たちが毎日快適に過ごせるような教室環境づくりに取り組みたい。また、より質の高い授業を行うために、十分に教材研究を行いたい。
- ◆「伸びたい」と思っている子供たちに対して、日々の授業の中で、一つでも力を付けていけるように工夫したい。
- ◆授業参観で指摘されることは、自分の授業力を向上させるためのチャンスだと思い、具体的に期限を決めて授業改善に取り組んでいきたい。

## 【講話②】「庄原市教育行政施策について」

庄原市教育委員会教育指導課 指導係長兼主任指導主事 住岡田 浩



### 【概要】

- ・各学校では、本市教育行政施策に基づいて教育目標を立て、その実現を図っている。基本方針や重点項目を十分に理解すること。

（参加者の振り返りより）

- ◆「知・徳・体」だけではなく、「繋・連」ということを初めて知り、社会に出るために必要な力を子供たちに付けさせなければならないと改めて感じた。
- ◆庄原市の独自の施策について理解し、地域に根ざした教育を推進していく必要がある。
- ◆学校現場における問題や課題を知り、取り組んでいきたい。また、食に関する問題等の情報収集を積極的に行っていきたい。

## 【講話・演習③】「教職員としての心得について」

庄原市教育委員会教育指導課 学事係長兼主任管理主事 小原 智子



- ・法令や服務規律の演習を通して、教職員の責任や職務遂行の在り方について考えた。
- ・職務遂行の基礎となる力及び各職種の専門性を高めること。

（参加者の振り返りより）

- ◆教師は、授業をすること以外にも、様々な人に対応することが求められている。「聞くこと、報告すること、連絡すること」を繰り返しながら、成長していきたい。
- ◆本日の研修で行った自己評価シートは、自分を客観的に見ることができ、大変参考になった。計画立案力を身に付けていこうと思った。
- ◆基礎力や専門力を少しずつでも確実に身に付けていきたい。